

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.198 (2008年8月9日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

8月10日(月)第9回五役会議 10時(連合徳島)
第2回選挙対策委員会(五役・執行委・地協代合同会議)
13時30分(労館502号)

8月18日(火)衆議院選挙公示
第20期部落解放・人権講座2日目 10時(県職員会館)

当面の
日程

核兵器廃絶へ力を結集! Yes, we can.



連合徳島の平和運動として「戦争を否定し、平和を創造する役割を果たせるのは私たちがなのだ」ということを自覚し、平和をつくることの証しとして、「徳島大空襲の取り組み」「平和の折り鶴」県民運動を今年も取り組みを進めてきた。そして、各構成組織・地協・小学校等で「平和への願いをこめて」一羽一羽折った平和の折り鶴約60,000羽(過去最高)は、代表団35人(内、子ども12人)が広島の「原爆の子の像」「動員学徒慰霊碑塔」等に献げるとともに「2009 平和行動 in 広島」(8/4~6)に参加した。

代表団は、4日午前9時に徳島(労館前)を大型バスで出発し、しまなみ海道を通過して16時30分から広島県立総合体育館で開催された「核兵器廃絶 2009 平和ヒロシマ大会」(連合・原水禁・核禁会議の共催)に参加。

全国から約6,000人が参加した。大会は、全国から持ち寄った折り鶴をステージに献納。(徳島から25,000羽を参加者が行った)川野・原水禁議長の開会あいさつ、参加者全員による黙祷の後、主催者を代表して連合・古賀事務局長は「熱線と爆風、恐るべき放射線により一瞬にして14万人余の尊い命を奪った原子爆弾が広島に投下されて今年で64年を迎える。今も多くの被爆者が放射線障害に苦しんでいる。核兵器は未だに世界に21,000発も存在し、人類は核兵器の脅威にさらされ続けている。連合・原水禁・核禁会議の3団体は、NPT再検討会議の成功に向けて、1000万署名や地方議会決議をはじめ、国際労働組合総連合や『平和市長会議』とも連帯し、核兵器廃絶に向けた国内外世論の喚起に取り組んでいく。核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして職場や地域で粘り強く取り組むとともに、多くのNGOとも連帯し、一層の運動を展開していこう」とあいさつ。続いて、来賓として広島県副知事、広島市長、JTUC国連事務所長、NGO代表(アメリカピースアクション代表)からあいさつを受けた。その後、広島県被団協・柳川良子さんから「被爆者からの訴え」として被爆体験が語られ、被爆ピアノ・翼をひろげる会により「平和コンサート」、長崎県実行委員会代表団からピースメッセージが行われた。



続いて、ヒロシマからの平和アピール(案)を全体の拍手で採択後、最後に、「原爆

を許すまじ」を全員で合唱し、大会を終了した。

5日は、9時30分からの連合主催による「ピースセミナー」がメルパルク広島で開催され、徳島からの参加者は「平和の語り部・被爆体験の証言」に参加。広島県被団協・坪井理事長から1時間半お話を聞いた。13時から、平和公園内にある原爆ドームや慰霊碑、記念碑をめぐる「ピースウォーク」に参加。猛暑の中で汗だくになりながらも連合広島青年・女性委員会のピースガイドから詳しく説明を受けた。その後、広島平和記念資料館を全員で見学した。

「広島原爆の日」の6日は、広島平和公園での広島市主催「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参加。全国から50,000人を超える方々が参列した。8時15分には、犠牲者を悼み、永遠の世界平和と二度と戦争の悲劇を繰り返さないことを決意して「平和の鐘」を合図に黙祷。秋葉・広島市長は平和宣言で「核兵器のない世界をめざすオバマ米大統領を支持。廃絶を願う多数派市民を『オバマジョリティー』と呼び、2020年までの核兵器廃

絶に向けて力を結集しよう」と呼びかけた。続いて、被爆地の2人の子ども代表が「世界の人々に、平和への思いを訴え続けることを誓います」と平和への誓いを読み上げた。

式典終了後、兵庫垂水の三井アウトレットパークを観光し、19時に徳島に無事到着した。今回の広島行動は、衆議院総選挙前の大変忙しい時期での取り組みとなったが、猛暑の中で、戦争の悲惨さや命の尊さ、平和の大切さを改めて認識することができた。そして、それぞれの職場や地域で平和運動の輪を広げていくことを確認し合い、2009 広島平和行動を終了した。参加された皆さん、大変ご苦労さまでした。

